



慈光

第100号

令和元年7月



編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園
慈光園デイサービスセンター
慈光園中央デイサービスセンター
在宅介護支援センター慈光園
慈光園ホームヘルプステーション
ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai.jikouen.jan>

印刷 (株)サンノー企画印刷



長井福祉会としての新たな時代の役割

長井福祉会理事長 豊野 充

平成から令和に新しい時代を迎えました。新天皇陛下には、平成15年、皇太子殿下時代に妃殿下と共に当慈光園を行啓なされました。また昨年暮れには天皇陛下より平成最後の御下賜金を賜りました。誠に名誉なことであり、長井福祉会として新しい時代に果たすべき役割を探ってみたいと思います。

長井福祉会慈光園は昭和59年4月に創設され、今年で35周年を迎えます。合わせてケアハウスウエルフェアも開設後15年になりました。現在特養入所定員140名、ショートステイ定員20名、ケアハウス50床、デイサービスセンター35名、中央デイサービスセンター35名、さらにホームヘルパーステーション、在宅介護支援センターの運営など幅広い高齢者介護事業を展開してきました。平成25年、26年と2年連続集中豪雨による浸水被害を受けましたが、復興工事も滞りなく終了しました。

慈光園の設立には山形県と長井市の助成を受けました。また運営に当たり金井神地区協力会、特養光会より多大な協力を頂きました。さらに市内の小・中学校、高等学校から定期的に奉仕活動を頂いています。また若柳会、良絃会、保育園・幼稚園の皆様から四季折々の行事に参加して頂き感謝いたします。

職員の組織体制強化のために、今年から部長制を導入しキャリアアップ促進のためのポスト創設を図り、指揮命令体制を明確化しました。職員の確保対策として、介護職員初任者研修、介護福祉士実務者養成研修を強化、さらに外国人介護職員の確保を進めていきます。

長井福祉会2025年ビジョンに向けた10か年計画を随時見直し、築35年となった介護棟、事務棟の改築、さらに増床を検討していきます。働きやすい職場をめざして職員待遇の見直し、福利厚生の実を充実させていきます。また職員研修の強化を図ります。具体的には、介護士等国家資格取得の支援、各種研修への支援（認知症、痰の吸引、排せつ、口腔ケアなど）、職員研究発表の推進等です。また社会貢献活動（献血への協力、市内クリーン作戦、アルミ缶回収など）も充実していきます。

私たちはご利用者の人生の重みを受け止め、「敬意を込めた介護」に当たってまいります。創設の心を忘れずに「知識・技術・心」三位一体の均整のとれた介護に努め、新しい時代の要請に適切した地域福祉の使命を貫いて参ります。今後とも一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

【令和元年度 開園記念式典】

令和元年6月17日(月)、社会福祉法人長井市福祉会慈光園の令和元年度開園記念式典が、ケアハウスドリームホールにおいて執り行われました。

法人理念である「敬意を込めた介護」、「知識・技術・心」の三位一体の均整のとれた介護に努め、時代の要請に適應したサービスを提供できるように役職員一丸となり職務に邁進していくことを確認しました。今後ともご利用者並びにご家族をはじめ、地域の皆様よりご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、式典の中で永年勤続表彰・研究発表の表彰が行われました。受賞された皆様おめでとうございます。

- 勤続35年表彰 6名
- 勤続25年表彰 3名
- 勤続20年表彰 1名
- 勤続15年表彰 1名
- 勤続10年表彰 4名



平成三十年年度 職場内研究発表の結果

最優秀賞

テーマ 介護課5棟
摂食嚥下障害のある利用者への実践的アプローチ

食べると言うことは、生命を維持していくためにとっても大切な事です。また、ご利用者にとっても楽しみの一つでもあります。しかし、何らかの原因により「摂食嚥下障害」が生じてしまいます。「口に入った物が上手く飲み込めない」その原因と身体のメカニズムを知る事でその方に合わせた食事介助を統一する事を目的に実施しました。美味しく、楽しく・安全に食事を摂って頂けるよう他職種と連携を図りながら今後も職員の高質の向上に努めていきます。



優秀賞

テーマ 生活相談員
地域で選ばれる施設を目指して

現在、超高齢社会を迎え、全国では65歳以上の高齢者世帯のうち、一人暮らし・高齢夫婦のみの世帯が7割を占めており、長井市も例外ではありません。全国的に介護施設が増加しているなか、長井市内においても様々な介護施設が増えていきます。ご利用者が入所施設を選択できるなかで、「慈光園で生活したい!慈光園に入所したい!」と、選ばれる施設になるため、生活相談員として今、何ができるのかを研究のテーマとして取り上げました。



佳作

テーマ 調理課
長生きの秘訣は その一口から
〜栄養は摂ったほうがええよう〜

健康を維持するためには栄養が必要で口から食えることは欠かせません。食事摂取量が増えたとともに褥瘡が改善した例もあります。今回の研究では食事摂取量の低下しているご利用者を対象に食事の改善に取り組みました。生きていく上では食事することは重要です。ご利用者健康を維持向上できるよう今後も工夫した食事の提供をしていきたいと思えます。



(ソフト食)

慈光園の事業所紹介と取り組みについて

特別養護老人ホーム

個々の希望する生活のあり方や意向を確認しながら、入浴・排泄・食事などの介助、健康管理、機能訓練を提供するとともに、医師・看護師・介護員等と連携を図り看取り介護の充実に取り組んでいます。

また、年間を通して各行事で季節の移り変わりを感じたり、毎週の喫茶でのひとときを楽しんだり、職員や利用者との何気ない日常のかわりのなかで少しでも笑顔につながるお手伝いできればと思います。



特別養護老人ホーム

(短期入所生活介護)

ショートステイでは、自宅以外でも楽しみをもった日常生活が送れ、日々の生活が充実できるような支援を行っています。他のご利用者や職員、地域の人たちとのふれあいを通じて、人間関係や社会参加を広げるきっかけづくりをおこなっています。季節毎の活動や趣味活動・物作りをとおして生きがいづくりを提供しています。

今後も、ご利用者に「また行きたい」「泊りに行くのが楽しみだ」と思えるような施設になるよう職員一同頑張りたいと思います。



在宅介護支援センター 慈光園

(居宅介護支援事業所)

在宅介護支援センターは、「高齢者福祉・介護」に関する相談窓口になっています。

「退院後の生活に不安を感じている」「最近、足腰の筋力が落ちて自宅での生活が不安だ」などといった相談を受けます。そういった方々にあつた介護保険サービスの紹介や居宅サービス計画書の作成(ケアプラン)などをしております。

住み慣れた環境・地域で生きがいの持てる生活が送れるよう、関係機関との連携を図りながら、よりよいサービスが継続的に受けられるように支援させていただきます。



慈光園ホームヘルパーステーション

(訪問介護)

私たちの大先輩であるご利用者から様々な人生経験をお聞きしながら、コミュニケーションを図りつつ、体調の変化に注意しながら一人ひとりに寄り添ったサービスを提供しています。

これからも常に爽やかな笑顔と挨拶を大切に思いやりのある介護を目指し、ご利用者が住み慣れた環境で快適に生活できるようにお手伝いさせていただきます。



慈光園デイサービスセンター

(通所介護)

要介護3・4・5の中重度の方でも安全・安心してご利用できる設備を整えております。

寝たきりの方や車いすで生活している方でも人との交流・社会参加・自宅ではできない活動など体験できるように季節ごと様々な行事を企画しております。畑づくり・おやつ作り・カラオケ・体操などをしている時は皆さん生きいきとした表情で活動に参加されています。ご利用者ができることを見守り、大変なことできかない部分は介助し自立支援に向けた取り組みをおこなっています。

訪問入浴

デイサービスなどへの外出が困難な方が自宅で入浴できるサービスです。訪問する職員は看護員1名介護福祉士2名で自宅に訪問して浴槽を運び・組み立てて入浴介助や寝具の交換・健康観察などをおこない、ご利用者が負担なく入浴して気持ちよく生活できるようにサービスを提供しています。



慈光園中央デイサービスセンター

(通所介護)

中央デイサービスセンターは、長井市ままの上の保健センターの隣にあります。車いす使用の方でも利用することができます。

施設内には、和室とフロアリングの交流スペース、浴室には機械浴、個浴、大浴場の3種類の浴槽を設置しております。ご利用者にあつた交流を図れる場の設定や入浴を行うことができます。また、自立した生活を送るために必要な運動も実施しております。

「外出することが楽しみ」「自宅での生活を長く続けたい」といった希望に沿えるよう支援させていただきます。



ケアハウスウエルフェア慈光園

(ケアハウス)

ウエルフェア慈光園では、多くの入居者の方々が自立された生活を送っていますが、時間の経過と共に変化し、現在では定員の約7割の方々が入居相談の半数以上が何らかの支援を必要とされる要介護・要支援認定を受けており、介護の重度化対応が課題として取り上げられています。現在、全国的にケアハウスの従来持つ機能を強化し様々な生活課題を抱える高齢者の方々に対し、専門的にかつ多様な機能を果たすことが求められています。当施設においても、地域における新たなケアハウスのあり方を考える1年となります。今年度も安心して楽しみをもつて過ごしていただける生活空間を提供できるように努めてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。



職員クラブ活動の紹介

華道クラブ

華道クラブは、古流松應会小林理恵先生のご指導のもと月2回お稽古をしています。花や草木の自然の美しさを花器に表現するのは大変難しいことですが、生けているうちに心が和んでくるような実感があります。日本の古き良き伝統文化を学ぶことで、新たな自分を発見でき生活の中にも活かすことができます。



茶道クラブ

茶道クラブは、福利厚生の一環として伊藤先生のご指導のもと、現在7名のクラブ員で月1回お点前をお習いしています。茶道は、奥が深く立ち振る舞いや作法が身体に身に着くまでには時間がかかります。楽しみながら、身に着けていけるようにとアドバイスをいただきながら行っています。慈光園文化祭においてお点前を披露しております。



書道クラブ

毎月2回、ケアハウス6階の和室で、見玉洋子先生の指導のもと、他部署の年齢層も幅広い仲間たちと、仕事を離れて心静かに筆先に集中する時間を共有し、時に6階からの素晴らしい景色を眺めつつ楽しみながら美しい文字の習得に励んでいます。毎年、文化祭での作品展示も行っています。



ソフトボールクラブ

ソフトボールクラブでは、長井商工会議所「会員親睦ソフトボール大会」、置賜地区老人福祉施設職員親善ソフトボール大会に参加しています。昨年度は親善ソフトボール大会において準優勝という成績を残すことができました。勝敗だけにとらわれず仕事から離れ、他部署の職員や他の施設の職員とスポーツを通して交流を図れるのも楽しみの一つになっています。これからも、やりがいの持てる職場環境が作れるようなクラブ活動を展開していきたいと思っております。



夏祭りのご案内

慈光園夏祭りを開催いたします。

日時：令和元年8月2日（金）
 例大祭 17：30～
 夏祭り 18：00～
 会場 慈光園南側駐車場

職員による黒獅子舞、模擬店、縁日、豪華賞品が当たる抽選会など、イベント盛りだくさんでお待ちしております。是非お越しください。



慈光園園歌

作詞 児玉 澎
作曲 鈴木宣子

一
外田山に陽はのぼりて
アイリスの花咲く庭に
温かき光みち
創設のころ忘れずに
ああここに
福祉の使命つらぬきて
共に歩むあしたへの光
ウエルフェア
ウエルフェア慈光園

二
最上川に風ふきて
アザレアの花咲く庭に
さわやかな香みち
創設のころ忘れずに
ああここに
地域福祉を担いゆく
あおぎて進む希望への光
ウエルフェア
ウエルフェア慈光園



編集後記

新しい元号「令和」を迎えるとともに、「慈光」も記念すべき一〇〇号の発刊となりました。

慈光園も開園三十五周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援やご協力によるものと感謝しております。

本号では、慈光園の取り組みや各行事、職員のクラブ活動を紹介させていただきました。今年度もご利用者様の日常や慈光園に関する情報をたくさんお伝えしていきたいと思っております。

編集委員

- ◎吉野 弘子 小関 幸子
- 青木 明子 佐久間優香
- 田中 俊行 梅津 智之
- 佐藤 純司 土屋 睦美
- 川井 梓 須貝 崇志

